

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院での虫垂炎に対する治療戦略および治療成績に関する検討

2. 研究の対象患者

当院において2018年1月1日から2023年6月30日までの期間に、当院で外科治療を行われた虫垂炎患者さんすべてを対象とする。

1. 選択基準

1) 切除標本の病理組織診断において虫垂炎と診断された患者さん

2. 除外基準

1) 他疾患の手術の際に同時に切除された症例

2) そのほか、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2018年1月1日～2023年6月30日

4. 研究の概要

急性虫垂炎は最も頻度の高い急性腹症の一つであり、多くは緊急手術の適応となる。しかし近年では炎症の強い症例や、すでに膿瘍形成を来している症例においては、まず抗生剤加療を行い炎症を鎮静化してから手術を行う、待機的虫垂切除を行うことで、術後の合併症のリスクを低減できるという報告が見られ、その有効性が示されている。当院でも緊急で手術を行うか待機的に行うかを症例毎に検討しているが、治療方針の共通の基準はなく、初診医の判断に委ねられることが多い。また当初は待機的虫垂切除を計画するも、抗生剤加療中に症状が憎悪し、緊急手術を行う症例も少なからず見受けられる。そこで本研究では当院での急性虫垂炎治療を後方視的に検討し、緊急手術、待機的手術の治療の安全性、有効性について検討し、それぞれの治療方針の適応を検討する。本研究により、当院での急性虫垂炎の治療方針を見直し統一化を図ることで、さらに急性虫垂炎の治療成績を向上させて行くことが期待できる。

5. 研究実施予定期間

2023年11月22日～2026年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

1) 患者背景：性別、年齢(歳)、虫垂炎発症日、虫垂炎診断日、虫垂炎治療開始日、併存疾患の有無、虫垂炎治療開始時における内服薬の有無及びその内容

2) 虫垂炎診断時および治療開始時の理学所見(体温、血圧、脈拍数、酸素飽和度、腹部症状の有無及び部位と程度)、血液検査所見(WBC、白血球分画、Hb、Pit、AST、ALT、LDH、ALP、 γ GPT、CRP、T.Bil、BUN、Cre、PT活性、PT-INR)、及びその推移

3) 治療方針および経過：緊急手術もしくは保存加療後の待機的手術かどうか。最初に保存加療を行った場合、保存加療に成功したか失敗したかどうか。

4) 手術日、手術術式、手術時間、出血量、術後合併症の有無およびその内容と治療方法、術後在院日数

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者(又は代諾者)個々には開示しない。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 外科 宮田陽一

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)